

援けます! 実力派抗がんサプリ

『回帰水C1』が拓く 生涯設計医療の時代

旭丘光志 医療ジャーナリスト

●がん5年生存率から10年生存率の時代へ

『がん』を発症しても可能な限り日常生活を維持し、仕事を辞めることもなく、従来どおり生きていくようにする——これが多くのがん闘病者の切実な願いです。その後押しになりそうな厚生労働省の新たな指針とがん医療の事実が、今年1月立て続けに全国紙の1面トップで報じられました。

(朝日新聞1月26日付)『がん退職防止へ指針 医師と企業連携』

短時間勤務促す——がん発症後仕事を断念せざるを得なくなる人は34・6%(2013年調査)にのぼりますが、厚生労働省はがん患者らが仕事と治療状況に応じて柔軟に働けるよう対策を開始します。短時間勤務・職場環境のシフト・休暇の活用など、病院と企業が情報交換しながら闘病と仕事を支え、がん患者が経済基盤を失わずに済むようにしようという取り組みです。

この新しい動きの背景には、医療の進歩でがん患者の生存率と生存期間が延び、がんになっても人生はまだまだ続いてゆく、といううれしい現実があります。

(朝日新聞1月19日付)『がん10年生存率58%——これまでのがん治療の成功目安を『5年生存』としてきました。ところががん医療の進歩によりがんが診断された後10年たっても高い生存率を保つがんが多いことが、全国のがんセンタ―などの統計調査で明らかになったのです。

そこで、『10年生存率』を新しい指標として公表することになりました。

今回公開された28種類のがんで10年生存率が最も高いのは「甲状腺がん91%」次いで「前立腺がん

84%」「子宮体がん83%」「乳がん80・4%」とつづきます。いずれも5年生存率はもう少し高いわけですが、それが10年経ってもあまり低下していないのです。胃がんや大腸がんなどといった日本人に多いがんに至っては、10年後の生存率が5年生存率とほとんど変わらない。その一方で、10年生存率が極端に低いがん種もあります。「膵臓がん4・9%」「肝臓がん15%」「食道がん30%」などですが、これらは難治性でもともと5年時点での生存率も低いがんなので

今回の調査対象となったのは1999年〜2002年にがんを診断された3万5000人で、すべてのがん種を合わせた5年生存率は「63・1%」ですが、それが10年時点では「58・2%」となります。5年を乗り切っても生存率は結構下がるのかと思われるむきもあるかもしれませんが、これはあくまでも10年以上前のがん医療による結果なのです。

がん医療はその後、遺伝子解析による早期診断や分子標的薬、体質に合わせた抗がん剤の選択的投与、重粒子線・陽子線治療など新しい治療技術の登場で驚異的な進化を遂げており、現在5年後を生

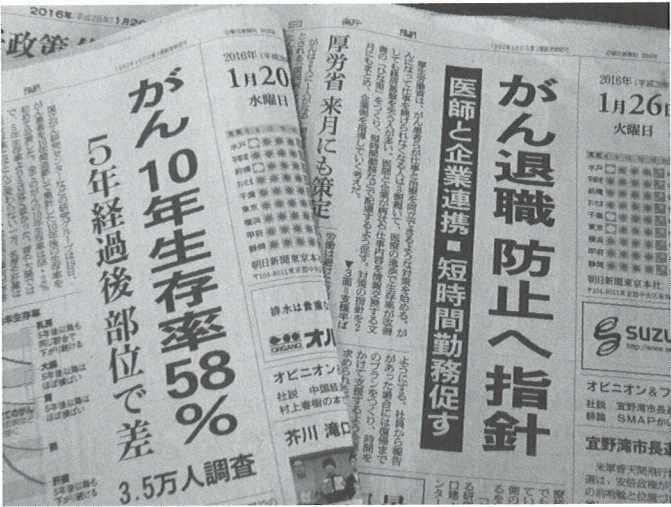
に生まれ、父親は中国で著名な中医師です。「父には私がまだ若いときから中医学をみっちり仕込まれました。しかし腹診、舌診や脈診などで診察し、理論的には4000年の歴史があるといっても葉草や漢方生薬を分量で組み合わせる中医学がどうにもいい加減に見えて、その反発から大学は西洋医学に進みました。卒業後は麻酔医・西洋医として寧安市第二病院勤務の後、1989年に留学生として日本へやってきました。後にダイエーの関係会社に見いだされ13年間にわたり健康食品開発に携わることになりました。そのとき皮肉にも父に鍛えられた中医学理論が大きな力となりました。漢方医学の奥深さが、生きたものとして私の中で蘇ったのです」

林さんはそこで数々の健康食品を開発しますが、ダイエーが苦境に陥ったとき関係者は個人的に仲のよかつた回帰水メーカー「タイセイ(株)」の耳塚信夫会長に秘蔵っ子の林

●「がんだけではない!」『回帰水C1』の健康寿命サポート力

いまかなり多くのがん患者が、免疫力賦活や抗がん剤の副作用防止、術後のケア、放射線治療時の防御、再発・転移の予防、体力維持など多様な目的で『回帰水C1』を飲んでいきます。愛用者の増加とともに愛用者の中から難病やがんなど、開発者も想定外の改善例が見られるようになっていきます。最近ではがん年齢に差し掛かった中高年の、がん予防でも頼りにされているようすが。

『回帰水C1』はがんだけをターゲットに開発されたものではありません。人生のあらゆるステージで体内環境の健全化と強化と浄化を行い、若々しく美しい「健康寿命」の実現を確かなものにしようという狙いで開発されたのです。分子栄養学的に3つの基本スタン



新聞記事 (がん退職防止 がん10年生存率)



林誠志開発部長 持つのは『回帰水C1』で数々の健康食品を開発しますが、ダイエーが苦境に陥ったとき関係者は個人的に仲のよかつた回帰水メーカー「タイセイ(株)」の耳塚信夫会長に秘蔵っ子の林

かと期待されている栄養機能食品が、『回帰水C1』です。がん以外の人も含めすでに全国でたくさんの人々が、予防と改善目的で飲んでいられるとされます。実は西洋医学のがん医療現場で手術や抗がん剤治療などの際に、すでに重用され治療実績を積み上げてきた漢方処方方をベースとして開発された、抗がん栄養機能食品なのです。

●1度は逃げた中医学が栄養機能食品開発の武器となった!

『回帰水C1』は西洋医学・東

洋医学・先進分子栄養学という3方向の医学的成果を土台に開発された全方位型栄養機能食品です。それぞれの医療が持つ独自の生命観に基づく自然治癒力を引き出す方法論に則り、それらの最良の部分と互いに補い合い効果が最大限になるよう配合しました。飲用試験も1年間繰り返して2013年にやっと完成したのがこの機能栄養食品なのです」

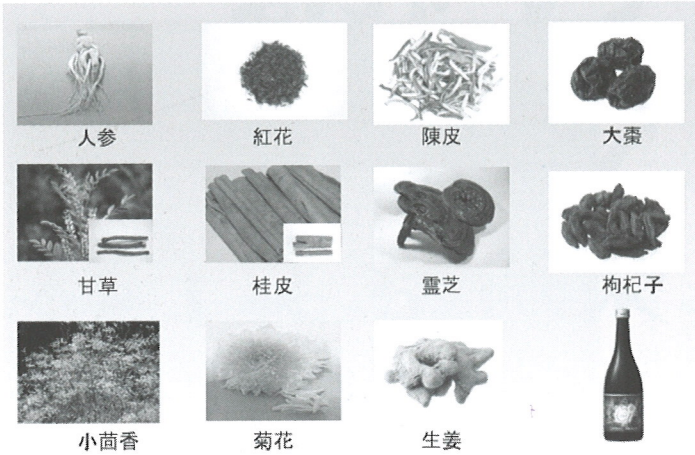
開発者の林誠志さん(50歳)タイセイ株式会社 開発部長)は究極のサプリメント開発に賭けた日々へ想いを馳せながら、流暢な日本語で語ります。

中国生まれの林さんは中国・牡丹江医学院(医科大学)卒の麻酔科医です。代々中医師(中国漢方医)を務める名門林家



あさおか・こうじ

1938年、樺太・豊原市（サハリン・ユジノサハリンスク）生まれ。作家、ジャーナリスト。小説およびノンフィクション（人物論、社会問題、教育分野、医療分野）で活躍。医療分野では、1980年代から、統合医療へと向かう世界的な新しい医療潮流を追って、各国の医療現場取材執筆。著書に『統合医療の力』、『決定版 シベリア健康法』、『食べて治す機能性食品』ほか多数。



のことでした。6月に大病院で内視鏡検査を受け「横行結腸がん・ステージⅢb」で一部リンパにも飛んでいることがわかりました。「ショックでした。実は私、その2年前の2006年に自宅に自然回帰水の生水器を取り付けて、デトックスのつもりで1日2ℓ程度飲んでいましたので、体に悪いものは体外に出ていると信じていたのです。なのに、なぜがんになったのかと、不信感さえ芽生えかけました。」

村井さんは8月初めに手術を受け、腸を20センチ切除しました。そして退院直後から1年間の予定で抗がん剤を飲み始めました。手術時のステージがかなり進んでいたため、どこかにがん細胞が飛んでいる可能性も否定できなかったからです。「医師には、抗がん剤の副作用で髪が抜け爪が黒くなるかもしれないと言われていたのですが、不思議に副作用はまったく出なくて：それで、これは回帰水のお蔭なのかもしれないと気付いたので。大腸がんも、回帰水を飲んでいたからこそこの程度で済んだのかも。しれないと感謝し、思考回路が物事をいい方に解釈し受け入れることができるようになりました」

回帰水C1に配合されている機能性成分の一部

大腸がん発病の真の原因にも気づきません。当時村井さんは毎週末静岡に住む老いた両親の介護に通い、しかも会社終了後毎日資格取得のため専門学校にも通っていて睡眠時間が4〜5時間しか取れないほど多忙でした。しかも勤める会社が大型合併したこともあって人間関係のストレスの渦中にあつたのです。「退院してすぐ自然回帰水の3ℓ水飲み健康法を開始しました（1日の水飲み量が3ℓ

を超えたとき劇的改善効果・本誌新年号参照）。術後4カ月は有休をもらい、11月〜3月まではフレックスタイム（午前10時〜午後4時の勤務）で職場復帰しました。そのあとは4月から通常勤務に戻りましたが3ℓ水飲み健康法のため、毎日自然回帰水を詰めた500mlのペットボトルを4本リュックに入れて通勤しました。フレックスタイム方式を取り入れたこのやり方はスムーズな職場復帰のためにとっても良かったと思っています」

村井景子さんはその後年1回の検査でも異常がなく、60歳の定年まで無事に勤めあげてお元気で退職しました。そしてその存在が噂になっていった『回帰水C1』が、2014年になってついに待望の発売になりました。もちろん村井景子さんはすぐ飲み始めます。1日50mlずつをご主人と一緒に。ときを同じくして、手術以来年1回検査に訪れていた大病院の担当医に嬉しい宣告をされます。「横行結腸がんの手術から丸5年を超えましたがその間まったく異常がありませんでしたので、今日から村井さんの治療記録は私のデスクのパソコンから外されることとなります。卒業です。もう病

スから健康寿命達成を引き寄せます。（カッコ内はそのために配合された機能栄養成分）

1 肉体の若さー紫外線を浴び、飲食し、体を動かすとき必然的に発生する活性酸素のダメージから体を守る抗酸化力を強化（レスベラトロール・赤ワインに含まれるポリフェノールで長寿遺伝子サーチュインを活性化する。フランス海岸松エキスービタミンCの数倍の抗酸化力）

2 内臓の若さー東洋医学でいう五臓六腑の働きをバランスさせ、栄養吸収と排泄による体内浄化を（シトルリンー血中アンモニア解毒作用など）

3 血管の若さー人生80〜90歳が当たり前の時代を迎えたいま、血管の柔軟性を保ち毛細血管の

隅々まで血液を行き渡らせることが寝たきりにならずアクティブに生きる健康寿命の条件（オリゴノールー血管内皮細胞保護と血行改善作用）

●正規がん医療を支えてきた漢方処方が機能性食品になった！

『回帰水C1』はあらゆる生活習慣病に対応する幅広い健康復元効果を発揮するように機能成分が配合されていますが、抗がん効果に絞ってみると東洋医学のアプローチ部分からその高い有効性の秘密が見えてきます。「十全大補湯」と『補中益気湯』

これはがん医療に関わる西洋医学の医師には最もお馴染みの漢方薬です。十全大補湯は気力体力を

補い虚弱体質を賦活して免疫能も上げますし、補中益気湯は消化器機能を強化し体力回復を助け、免疫低下を防ぎます。手術や抗がん剤治療の際に併用されることの多い免疫賦活系漢方処方です。十全大補湯はその名の通り10種類の漢方薬、補中益気湯も10種類の漢方薬を配合した名処方です。漢方理論的には体内を巡る「気・血・水」の滞りを解消する狙い。西洋医学の医師たちもこの2処方の有効性を体験的に知っています。

『回帰水C1』にはこのふたつの漢方処方に配合されている20種類のうち機能栄養食品として毎日飲むには強すぎる7種類を継続飲用に適したものに入れ代えた漢方素材を、13種類はそのまま配合されています。ときに驚かされるよう

な抗がん効果はこの漢方部分が担っている可能性が高いと林誠志氏はいいます。そして西洋医学からのアプローチはビタミン、微量ミネラル、パントテン酸、マグネシウムなど体内合成できないため毎日食事として補わなければならない微量栄養素群です。『回帰水C1』が如何に普通の機能栄養食品の範疇をはるかに超える奥行きを持つのであるか、ご理解いただけたでしょうか。配合されている機能性成分の数が単に多いだけではなく、それらを林誠志氏の中医学と西洋医学と統合医療に跨る健康思想が、さながらオーケストラのコンダクターの如く目的に向かって方向づけしているのです。

この後紹介する『回帰水C1』による鮮やかな健康復元効果は、そこから生まれるべくして生まれ、人を癒すのでしよう。

●『自然回帰水』と『回帰水C1』で大腸がん手術の再発もなく5年卒業！

大手金融機関に勤める横浜市在住の村井景子さん（当時57歳）の「大腸がん」が会社の定期検診で見えられたのは、2008年5月



回帰水C1 自然回帰水ボトル



自然回帰水生水器